

# 令和5年度事業報告

## 1、法人 本部

### (1) 概要

#### ①利用者及び家族へのサービス提供の充実

- ・新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」という)がR5.5月8日に2類から5類に引き下げられたことに伴い、行事内容や方法、入館制限について見直しを行った。5類に引き下げられた後も、感染予防を踏まえ内容や方法を検討した。
- ・上記のことから、外出を伴う行事(ケアハウス)や、夏祭りや運動会など集団での行事、カラオケ・童謡唱歌などのレクリエーションなどを再開しており、入居者・利用者の方からも「久しぶりで楽しかったよ」「元気が出た」と喜びの声をいただいている。
- ・入館者については、1度に2名までとし抗原検査をして陰性だった方に限り、入室し入居者と対面していただけることとした。それらにより、入居者のご家族の来訪回数が増加し、お部屋でのご様子を見ていただける機会を作ることができた。また、玄関先での面会に対しては、マスクを着用し面会していただける形をとっており、ご家族と入居者の交流、ご家族と職員の交流をもつことができ、都度お話をを行うことで関係を深めることができた。
- ・疾患や怪我などの状態変化や体調不良時の対応など、安全に安心して過ごせるよう各部署と連携し生活を維持できるように努めた。
- ・新規入居者や新規利用者の受け入れにあたり、心身の状態や生活歴等の聞き取りを丁寧に行い望む生活の把握に努めた。またご家族の思いを傾聴することで安心して利用していただけた。

#### ②地域福祉の推進

- ・新型コロナまん延以降、従来から行っていたボランティア・幼稚園児・小学生の慰問訪問や中学生の職業体験等が中止になっている。
- ・包括支援センターに大学の看護学部の公衆衛生の実習の依頼があり、R5.6月に2グループに分かれて実施した。
- ・地域の集いや行事等について、新型コロナが5類になってからは再開されているところも増えており、地域の運動会やイベント、近木川クリーンキャンペーン等への参加及びお土産の提供や準備の協力等を行なっている。今後も地域の活動の情報を入手し参加等の協力を行う。

#### ③人材確保と育成

- ・社外研修について、R5年度上半期は募集が少なく受講することが出来なかったが、下半期は、ケアプランセンター職員・包括支援センター職員等がWEB研修に参加した。
- ・社内研修については、計画通り研修を実施し、参加できなかった職員については、各部署での会議やミーティングで伝達している。
- ・R5.7月28日にAEDの入れ替え(使用期限終了のため)を行い、その際に緊急時の対応(発見～CPR(心肺蘇生法)の実施)、AEDの操作方法の研修を行なった。
- ・職員からのスキルアップ研修や資格取得の希望に添えるよう、必要な学習等のため勤務調整を行った。介護福祉士の受験資格を取得するための講習等に参加し介護福祉士資格取得を目指す職員がいる。
- ・人材確保のため、職員募集を引き続き行っており週1～2日の非常勤看護師や他職種からの就職の職員の入社があったが、数か月以内に退職された方もおり、全体数の増加にはつながらなかった。他職種からの就職された方で「介護の仕事は、思っていたのとは違う」と話される方も多い。
- ・職員一人ひとりが、やりがいをもって取り組むことが出来るように役割と責任をもてるように働きかけた。また、精神的に滅入ることがないように職員の表情や動きなどに配慮し声掛けや話を傾聴できるよう配慮した。

#### ④施設整備について

- ・R5.2月28日に発見されたケアハウス浴室の配管からの水漏れ及びケアハウス浴室ろ過機の破損に対しての温水器・ろ過機設置及び浴室循環機改修工事及び浴室の改装をR5.9月26日～11月8日で行った。工事実施日は浴室の使用が出来ないため、工事の休止日をつくり浴室を使用できる日を設定するなど工事行程の調整を依頼した。入居者には丁寧に説明を行うことで、トラブルや苦情なく工事を実施することができた。

施工内容は、ケアハウス浴室の男女独立したボイラー・ろ過機の設置、浴室手すりの増設・

女性浴室の浴槽への出入り口の増設（浴槽出入りのための階段・手すりは1か所だったが階段・手すりを3か所に設置することで、複数人が同時に入浴しても安全に動作が行えるようにした）、シャワーの増設及び各シャワー台に仕切り板の設置、浴室の天井の取り換え及び換気扇の増設、脱衣場のクロス張替え等で、R5.2月28日以降、浴槽が使用できない状態が続き入居者の方々に不便をおかけしたが、安全に安心して入浴していただけるものとなったと思われる。

- ・R5.8月10日に、大阪府共同募金会助成事業（R5年度実施事業）福祉車両購入に対する助成により購入した福祉車両（キャラバン）が納車された。
- ・建物、機器、備品（椅子や机）などを日々点検し老朽化や不具合により入居者・利用者に不便や危険が及ばないように、修理や入れ替えを検討していく。

#### ⑤防災への取り組みについて

- ・自然災害発生時の業務継続計画を整備し、職員に周知した。
- ・防災マニュアル・業務継続計画に沿って、避難訓練及び避難用の備蓄品等の点検、補充や備蓄品目等の見直しを行っている。
- ・避難訓練時に、賞味期限が迫っている食品（みそ汁等）を入居者・職員に実際に食べていただいた。
- ・非常用発電機や浄水装置等非常用設備の使用手順や自火報・通報装置の操作手順の確認等を行っている。
- ・R5.8月15日の台風7号は、近畿地方を中心に日中の時間帯に大荒れになる見込みとの予報であり利用者の安全を考慮し、デイサービスを休業とした。施設内では、エレベーターホール周辺への立ち入りを禁止するポールを設置し、昼食は各部屋にお弁当を配布し自室で過ごしてもらうように案内した。施設内外の被害等はなかった。

#### ⑥感染症の予防及びまん延の防止について

- ・感染症発生時における業務継続計画を整備し、職員に周知した。
- ・感染症マニュアル及び業務継続計画に沿って、日々の感染症予防及びまん延防止のための対策を継続している。
- ・感染症予防及びまん延防止のための備品の点検や補充を定期的実施している。
- ・高齢者施設等従事者抗原検査（大阪府）により、3日毎に職員の検査実施及び居室へ入室する外部者等はその都度の検査実施を継続し、抗原検査による陽性者はいなかった。
- ・厚労省「高齢者施設等における感染対策等について」の通知（R5.4月18日付け）に、新型コロナウイルス感染症が5類になった以降も、高齢者施設の感染対策の徹底を継続することとあり、その中で「マスクの着用」「換気」「面会について」等が記載されており、それらを加味し感染対策を継続している
- ・新型コロナの罹患者について、R5.8月24日に入居者1名が罹患したが重症化及び感染拡大はなかった。職員数名が罹患した（罹患時期は異なる）が利用者及び職員間での感染拡大はなかった。
- ・入居者の新型コロナウイルスワクチンについて高松医師（高松内科）に来所いただきR5.5月15日（6回目）、10月9日（7回目）の接種を実施した。
- ・R5.10月～入居者のインフルエンザワクチン接種の実施。11月～12月に職員のインフルエンザ接種を行った。
- ・その他インフルエンザ等の感染症への罹患者はなし

#### ⑦その他

1) 安全運転管理者は、R5.8月24日に安全運転管理者講習を受講した。

- ・業務で車両を運転する職員を対象に、就業前にアルコール検知器での酒気帯の確認及び疲労・睡眠不足の状態の有無のチェックを継続している。

2) 大阪府等の補助金・支援金一覧

名称	実施団体	対象	申請日	金額等
大阪府社会福祉施設等 物価高騰対策 一時支援金事業（第2弾）	大阪府	ケアハウス デイサービス 敏庵 ヘルパー ケアプラン 包括支援センター 小規模多機能	R5. 9. 30	合計 873,900 円
社会福祉施設等 従事者支援事業 （第2弾）	大阪府	ケアハウス デイサービス 敏庵 ヘルパー ケアプラン 包括支援センター 小規模多機能	R5. 12. 9	「大阪府社会福祉施設等従事者支援事業」の申請（コロナ禍で利用者に接する業務に従事した従事者に対して2万円のギフトカード配布）
大阪府社会福祉施設等 物価高騰対策 一時支援金事業 （第3弾）	大阪府	ケアハウス デイサービス 敏庵 ヘルパー ケアプラン 包括支援センター 小規模多機能	R6. 1. 17	合計 873,900 円

(2) 研修その他

①理事会・評議員会等開催状況

		主な内容
R5. 5. 24	監事監査	
R5. 6. 1 13:30~14:40	第89回理事会	1. 令和4年度補正予算（案） 2. 令和4年度事業報告及び計算書類等、監事監査報告 3. 社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画について 4. 次期役員を選任について 5. 評議員の辞任に伴う選任について 6. 評議員選任・解任委員（事務局員）の辞任に伴う選任について 7. 次期評議員選任・解任委員の選任について 8. 評議員選任・解任委員会の招集について 9. ケアハウス浴室の修繕について 10. 定時評議員会の招集と提出議案について 報告事項 大阪府共同募金会助成事業（R5年度実施事業対象）について
R5. 6. 5 14:00~14:15	評議員選任・解任委員会	1. 評議員の選任について
R5. 6. 23 13:00~14:10	定時評議員会 （第71回）	1. 令和4年度補正予算（案） 2. 令和4年度事業報告及び計算書類等、監事監査報告 3. 社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画について 4. 次期役員を選任について 5. ケアハウス浴室の修繕について 報告事項 大阪府共同募金会助成事業（R5年度実施事業対象）について

R5. 6. 23 14:30~14:50	第90回理事会	1. 理事長及び常務理事の選任について 2. ケアハウス浴室の温水器・ろ過機設置及び浴室循環機改修工事について
R5. 11. 9 13:30~14:10	第91回理事会	1. 理事長及び常務理事の職務執行状況について 報告事項 1. 大阪府共同募金会助成事業(令和5年度実施事業対象)について 2. ケアハウス浴室の修繕について
R5. 3. 4 13:30~14:20	第92回理事会	1. 理事長及び常務理事の職務執行状況について 2. 令和6年度事業計画(案)・予算(案) 3. 役員等賠償責任保険契約の内容について 4. 就業規則の変更(宿日直手当)について 5. 評議員会の招集と提案議案について 報告事項 「大阪府 使途指定寄付」に係る物品購入について
R6. 3. 30 13:30~14:15	第72回評議員会	1. 令和6年度事業計画(案)・予算(案)

\*開催場所：社会福祉法人延寿会 ふれあい二色の浜 食堂

## ②職員研修

<外部研修>

・外部研修の募集は少なく、ZOOMやYouTubeの視聴などのWEB研修が中心となっている

	研修名	実施団体	参加所属
9/27	令和5年度 岸和田保健所関係機関 職員研修 「今日の精神疾患とその治療」	大阪府岸和田保健所 地域保健課 精神保健福祉チーム	・ケアプランセンター ・包括支援センター
10/11	こんな時どうする？給付管理 (事例紹介、制度と対応について)	貝塚市居宅介護支援部会 包括支援センター	・ケアプランセンター ・包括支援センター (参画)
11/12	第4回大阪高次能機能障がい リハビリテーション講習会	大阪高次能機能障がいリ ハビリテーション講習会 実行委員会	・ケアプランセンター
12/2	貝塚市障害者自立支援協議会 権利擁護部会セミナー 「あきらめたけど、あきらめない」	貝塚市障害者自立支援協 議会 包括支援センター	・ケアプランセンター ・包括支援センター (参画)
12/2	地域医療介護連携セミナー 「介護者と利用者のさまざまな痛み について話しあう」	厚労省 慢性疼痛診療システム 均てん化等事業	・ケアプランセンター
1/16	令和5年度地域包括ケアシステム 充実強化研修(ZOOM)	大阪府福祉部高齢介護室 介護支援課	・包括支援センター
1/21	他職種連携研修会 「ACP(アドバンス・ケア・プランニ ング)支援実践研修」	貝塚市在宅医療・介護連 携推進懇談会	・ケアプランセンター ・包括支援センター (参画)
2/29	認知症初期集中支援チーム員 フォローアップ研修(YouTube)	大阪府福祉部高齢介護室 介護支援課 認知症・医介連携グループ	・包括支援センター
3/9	令和5年度地域包括ケア担当員 セミナー(オンデマンド配信)	大阪府福祉部高齢介護室 介護支援課 地域支援グループ	・包括支援センター

3/21	支援困難事例対応力向上セミナー (YouTube)	一般財団法人 長寿社会開発センター	・包括支援センター
3/23	令和5年度特定給食講演会 (YouTube 限定公開)	大阪府健康医療部 健康推進室 健康づくり 課総務・歯科・栄養グル ープ	・ケアハウス(厨房) (管理栄養士)

	研修名	参加所属
11/9～3/6 (全7回)	主任居宅介護支援専門員更新研修	・ケアプランセンター 1名
1月	認知症介護基礎研修	・デイサービスセンター 3名
2月	認知症介護基礎研修	・デイサービスセンター 1名

	研修名	参加所属	参加所属
7月	軽費老人ホーム「令和5年度指導・研究会」 (YouTube 視聴)	大阪府	ケアハウス
	令和5年度 指定居宅サービス事業者等集団指導 ⇒HP上の資料をダウンロードし、確認。 報告書の提出を行った。	広域事業者指導課	各介護サービス事業所

<社内研修> \*参加者は各部署で他の職員に伝達する。

	内容	テーマ
4/28	食中毒の事例検討及び発生予防、まん延の防止に関する研修	高齢者施設で起こりやすい食中毒事故、事例検討
5/19	接遇に関する研修	福祉職に求められる接遇マナー
6/30	身体拘束等排除のための取り組みに関する研修	身体拘束廃止のための具体的なケアの方法
	虐待防止研修	身体拘束と高齢者虐待の関係 高齢者虐待防止の対応
7/28	非常災害時の対応に関する研修 非常災害時の避難・救出等に関する研修	AEDの操作方法 CPR実施方法と実施時の注意点
8/22	事故発生予防またはその再発に関する研修 事故の発生等緊急時の対応に関する研修	AEDの操作方法 CPR実施方法と実施時の注意点 (再確認と事故発生時の役割分担等について)
9/15	倫理・法令順守研修	令和5年度指定居宅サービス事業者等集団指導の資料をもとに情報共有等
10/22	感染症の発生事例検討 感染症の発生の予防及びまん延防止に関する研修	実際の事例とそこから得られる感染対策ポイント
11/15	身体拘束等排除防止に関する研修	身体拘束廃止に向けて、まずなすべきこと
11/15	高齢者虐待防止に関する研修	虐待防止の研修
12/15	認知症及び認知症ケアに関する研修	事例から考える認知症ケア

1/22	非常災害時の対応に関する研修	地震発生直後の対応 優先順位について
2/20	事故発生予防又は再発防止に関する研修	ご利用者の介助方法について
3/21	企業内人権啓発研修	高齢者の人権問題 高齢者に対する人権侵害とは？
3/22	個人情報（プライバシー）保護研修	「プライバシーや個人情報の保護 に関する研修」

③職員関係の会議・各委員会

身体拘束等廃止委員会	3ヵ月に一回 委員会開催	社内研修（年2回） R5.6/30、R5.11/15
感染症対策委員会	3ヵ月に一回 委員会開催	社内研修（年2回） R5.4/28、R5.10/22
事故発生防止委員会 （リスクマネジメント委員会）	毎月	社内研修（年2回） R5.8/22、R6.2/20

職員関係	職員会議（月1回）	給食会議（月1回）
------	-----------	-----------

(3) 職員の健康診断

	回数	医療機関	健診日
常勤・非常勤全員の健康診断	年1回	りんくうタウンクリニック 徳州会病院 高松内科	R5.5～R5.11
宿直者（ケアハウス）の健康診断 （9名）	年2回	（1回目）上記に含む （2回目）高松内科	R5.12～R6.3

(4) 職員採用・退職状況（R5.4～R6.3）

（単位：名）

部署	職種	退社		入社	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤
ケアハウス		0	0	0	0
デイサービスセンター	介護職員	4	2	4	3
	看護師	0	4	0	5
デイサービスセンター敏庵		0	0	0	0
ヘルパーステーション		0	0	0	0
ケアプランセンター		0	0	0	0
包括支援センター		0	0	0	0
小規模多機能型居宅介護		0	0	1	0
合 計		4	6	5	8
		10		13	

OR6.3 月末職員数（施設長・事務長除く）

（単位：名）

部署	職種	基準職員数	常勤	非常勤	合計	総合計	
ケアハウス	生活相談員	1名	1	0	1	9	
	事務員	1名	1	0	1		
	介護職員	2名	2	0	2		
	栄養士	1名	2	0	2		
	調理員	—	1	0	1		
	調理補助	—	0	1	1		
	清掃員	—	0	1	1		
デイサービス	生活相談員	3名	5	0	5	23	
	介護職員	利用者3名に対して常勤換算1名+通所型サービスAの職員1名	2	9	11		
	看護職員	常勤換算2名	0	5	5		
	調理補助			2	2		
敏庵	生活相談員	1名	2	0	2	6	
	員 介 護 職	柔道整復師	利用者3名に対して常勤換算1名+通所型サービスAの職員1名	2	0		2
		初任者研 その他		0	2		2
ヘルパーステーション	サービス提供責任者	常勤換算2.5人以上	2	0	2	5	
	訪問介護員		0	3	3		
ケアプランセンター	主任ケアマネジャー	1人	2	0	2	4	
	ケアマネジャー	—	2	0	2		
包括支援センター	看護師	1名	1	0	1	4	
	主任ケアマネジャー	1名	2	0	2		
	社会福祉士	1名	1	0	1		
小規模多機能型	計画作成担当者	1名	1	0	1	5	
	介護職員	通いサービス利用者3名に対して職員1名+訪問サービスの職員	3	0	3		
	看護職員	1名	0	1	1		
		合 計	32	24		56	

2 ふれあい二色の浜

(1) 軽費老人ホーム（ケアハウス） 定員 40名

①概要

- ・コロナの感染法上の位置づけが令和5年5月8日に5類に引き下げられ、それに伴い世の中の行動規制等が緩和された。ただし5類に引き下げられた当初、コロナ罹患者は継続して増加傾向になっているとの報道もあり、ケアハウスとして入居者の健康を第一として入館や外出のルールは引き下げ前と変わらない形で運営した。その後、大阪府からの通知や社会情勢等を鑑み外出制限や入館制限のルールを変動させた。
- 10月頃に、大阪府から制限要請の緩和の通知があり入館や外出について多少ルールを緩和しており、それぞれのルールの維持・変更に不満等は出なかった。
- ・入居者にとってご家族との関わりは大切であり、出来る限り感染リスクを抑えつつ、面会してもらえる形を模索し、玄関先での短時間のご面会と合わせて、抗原検査を実施の上2名まで入室してもらえる形で運営し、前年より入室し入居者と面会されるご家族は増えた。
- ・新型コロナ等のウイルスを持ち込ませないことを徹底し、手洗い・うがい・消毒等の予防対策をしっかりと行ってきたが、8月下旬に入居者1名が罹患された。ただし幸いにも重症化せず、かつ周りの入居者も体調を崩される方はいらっしやらなかった。下半期はコロナ罹患者が発生しなかった。
- ・体調不良や感染症に感染していないかの確認の為に日々の検温や状態の聞き取りを行い、状態の変化を見落とさないような対応を心掛けている。
- ・コロナ禍で中止していた外出系の行事を感染症の流行具合を加味しつつ、外部者との接触が極力ない形で徐々に再開することが出来ており、かつ施設内の行事もコロナ禍前に近いレベ

ルで運営出来つつある。ただし入居者のレベルが以前より低下している為行事内容に創意工夫が必要な状況であった。

- ・ 下半期に入り、入居者、家族共に数名の方から家族との外食や外泊について相談があった。世間の情勢や施設の運営方針をご説明し、ご理解頂きご協力頂ける形となった。
- ・ 入居者の日々の状態確認や職員間での情報交換を行い、支援について共通意識を持って取り組んだ。またご家族のメンタルフォローや入館制限中の生活の様子の伝達などもしっかりと行った。
- ・ 令和5年末に複数名の方が体調不良や転倒等で入院される運びとなった。懸命のリハビリのもと無事に施設復帰された方もいらっしゃったが、施設復帰が困難な方もいらっしゃった。その方のご家族の不安に寄り添い、転居されるその日までご家族が困る状況にならないよう寄り添うことが出来た。
- ・ 天災（台風・大雨など）についてテレビやインターネットなどの情報を積極的に入手し有効活用することで、適切な対策を立てる事が出来た。
- ・ 定期的に法人内外の事業所より施設を探されている方のご紹介があり、下半期に入って発生した退居に対して、スムーズに次の入居者様をアテンドすることができ、空室期間が出来るだけ短くなるよう動けた。
- ・ 令和5年11月25日(土)に八品神社で行われた串祭に参加し、町会の方にご協力し、地域の方々と交流を図った。

## ②入居者状況

### 1) 入退院状況

月	内科的入院	外科的入院
4月	①4/27 市立貝塚病院入院～5/11 同病院退院。腹痛と吐き気有、急性膵炎の為。	
5月		①5/12 葛城病院入院～8/9 同病院退院し岸和田徳洲苑の老健でリハビリ中。転倒後数日生活されたが痛み取れず、第5腰椎圧迫骨折判明し、安静の為。退院後はリハビリの為岸和田徳洲苑の老健へ入所中。
6月		
7月		
8月	①8/2 市立貝塚病院入院～8/9 同病院退院。胆のう切除術を行う為。 ②8/21 岸和田徳洲会病院受診後、青松記念病院入院～現在入院中。以前から大腸がんあり下血もしていたが、血圧低下や貧血の疑いも強く岸和田徳洲会受診し、尿路感染発覚し、岸和田徳洲会病院が満床の為青松記念病院で入院。	
9月	①9/1 市立貝塚病院入院～9/13 同病院退院。体調不良と原因不明の出血あり、虚血性大腸炎の為。 ②9/9 西出病院入院～9/11 西出病院から市立貝塚病院転院～9/16 市立貝塚病院退院。前日より体調不良あり、腎疾患を疑い一旦西出クリニック入院。慢性胆のう炎と右尿管結石発覚。9/11 市立貝塚病院転院。	
10月	①10/11 市立貝塚病院入院～10/18 同病院退院。8月に胆のう切除術を行った続きで、胆管を取る手術実施の為。	
11月	①11/15 市立貝塚病院入院～11/21 同病院退院。尿管結石破砕術実施の為	

12月	①12/16 岸和田徳洲会病院入院～1/12 同病院から岸和田平成病院転院～3/26 同病院退院。体調不良、血圧上昇、転倒など有、採血し炎症反応強く岸和田徳洲会病院にて肺炎が判明し入院。完治したが体力の低下が有、岸和田平成病院へ転院。リハビリ実施後退院。	①12/25 葛城病院入院～12/26 岸和田徳洲会病院転院～現在入院中。廊下で転倒され、たなか整形で左足頸部骨折判明、葛城病院紹介され入院。循環器で元々岸和田徳洲会病院にかかっていた為岸和田徳洲会病院へ転院し、手術実施。リハビリの為近日中に岸和田平成病院へ転院予定。 ②12/28 市立貝塚病院入院～R6. 2/13 同病院退院。居室内で転倒され市立貝塚病院受診し右大腿部大転子部骨折判明し手術実施の為入院。年末ということもあり、当日中に手術実施。同病院でリハビリ後退院。
R5. 1月	①R6. 1/29 岸和田市民病院入院～現在入院中。体調不良、低ナトリウム血症有、岸和田市民病院内分沁内科受診。検査にて心臓や腎機能の数値が悪く、1/29 同病院循環器科受診。心不全や低ナトリウム血症の治療の為入院。	
R5. 2月		
R5. 3月		

## 2) 入退去状況

月	月初 入居 者数	退去者		入居者		月末 入居 者数
		人数	概要	人数	概要	
令和5.3月にお一人退去され、入居者数39名となった						
4月	39	0		0		39
5月	39	0		0		39
6月	39	0		1	○82歳男性 枚方市で独居生活をされていたが、認知所見や高次脳機能障害や心疾患などがあり、お一人で生活させることに不安を感じたご家族の勧めで入居される。	40
7月	40	0		0		40
8月	40	0		0		40
9月	40	0		0		40
10月	40	0		0		40
11月	40	0		0		40
12月	40	2	○89歳女性 4月に直腸がんが判明し、8月に脱水や尿路感染を発症し岸和田徳洲会病院受診から青松記念病院に入院。直腸がんの影響で尿路感染等を発症しており手術実施も、元々の認知機能の低下などもあり施設復帰は困難とご家族が判断し退居となる。 ○80歳女性 5月に腰椎圧迫骨折判明し葛城病院に安静治療の為入院。入院中に右肩石灰化や胃のポリープ切除などでリハビリが思うように進まず認知機能も低下。岸和田の老健へ転院しリハビリを行う予定だった	2	○90歳女性 貝塚市内で独居生活を行っていたが、自転車外出時に転倒することが増えたり物忘れが増え受診や服薬を忘れてしまったり、生活に援助が必要な状況になってきており、かつご家族様が遠方で何かあった際に非常に不安と思われており、入居となる。 ○90歳女性 貝塚市内で長男と同居生活を行っていたが、同居生活が難しくなり施設入所を検討。元々当施設のデイサービスを利用されていて、入所するなら当ケアハウスが良いと希望していただき、空きが出来る	40

			が、ADL の改善は無く認知機能がさらに低下し施設復帰は困難とご家族が判断し退居となる。		までの期間を東大阪の長女宅で待機された後、当施設に入居となる。	
R6.1月	40	0		0		40
2月	40	0		0		40
3月	40	0		0		40

3) 入居者の年齢別状況 (R5.3月)

単位：名

	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	合計	平均 年齢
女性				1	6	6	16	3	32	89.3
男性				2	3	1	1	1	8	84.6
総数				3	9	7	17	4	40	88.3
前年度				5	7	10	13	4	39	87.2

※男性最高齢：95歳、男性最年少：76歳 女性最高齢：97歳、女性最年少：76歳

4) 入居者の介護度及びサービス利用状況

単位：名

介護度		要支援		要介護					事業対象者
		1	2	1	2	3	4	5	
人数		0	3	10	12	5	5	0	2
利用 サー ビス	通所介護	0	2	10	8	4	3	0	2
	訪問介護	0	1	7	8	4	4	0	1
	福祉用具	0	2	3	6	1	4	0	0
	訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模多機能型 居宅介護	0	0	0	1	1	1	0	0

5) 入居者の入居前の居住地

単位：名

地域	男性	女性	合計
貝塚市内	8	23	31
泉州圏(高石市～岬町まで)	0	6	6
大阪府内で泉州圏以外	0	1	1
大阪府外	0	2	2

6) 入居の平均期間

性別	平均入居期間	最長入居期間
男性	5年9か月	14年2か月
女性	7年1か月	23年6か月
施設全体	7年0か月	23年6か月

7) 主な行事

4月	ボーリング大会、お好み焼きツアー
5月	カーネーションクラフト会、菖蒲湯
6月	二色の浜バーベキュー

7月	七夕、食事会（かつぱ寿司）、消防訓練
8月	夏祭り、事務長の紙芝居
9月	敬老の日（豪華食事）、おでかけドライブ、事務長の紙芝居
10月	二色浜で昼食会、ふれあい運動会
11月	物づくり会、菊花展、創立記念式典
12月	日帰り旅行（犬鳴山み奈美亭）、クリスマス会、おもちつき
R5 1月	初詣、新春お楽しみ会、消防訓練
2月	節分行事、バレンタインチョコすくい取り
3月	桃の節句、映画観賞会、ボーリング大会

\*特記事項…貝塚市民図書館・移動図書館ひまわり号（月1回来訪）

\*その他：毎月誕生日会・寺子屋・お元気教室・ショッピング・カラオケ等

・フラワーアレンジメント教室については、ケアハウスは休止。

・書道教室は参加者減少の為、7月より休止。

## (2) デイサービスセンター（定員 65 名） 通所介護サービス A 10 名 介護給付 55 名

### ①概要

#### 1) 利用者一人ひとりにあったサービス提供及び満足度の向上

- ・前年度に比べ、延べ人数及び実人数ともに増加しており、毎月約 4～6 名の新規利用者がある。また、体験利用や追加利用の問い合わせも増えている。
- ・新型コロナウイルスの状況を確認しながら、集団での行事やカラオケなどを再開した。行事やカラオケ等で声を出す機会が増えたことやチーム対戦ゲームを取り入れることで活気が増えた。
- ・在宅酸素療法や膀胱留置カテーテル挿入など医療的な処置をされている利用者が増えたが、訪問看護ステーション（他事業所）との連絡を密にするなど連携を図っている。
- ・急な血圧低下や来所時の発熱などの体調不良の利用者がおられたが、看護師を中心に対応を行うことで状態の悪化等には至っていない。また、転倒による怪我や骨折等の事故の発生はなかった。ヒヤリハット事例を元に対策・改善策の検討や緊急時の対応方法など職員全員が把握できるようにミーティング等の機会に共有している。

#### 2) 職員の意欲・モチベーションの向上を図り、職員の定着及びサービスの質の向上を目指す。

- ・他職種から転職し入社した職員が入社 1 週間程度で「介護の仕事は思っていたのと違った」と退職された。新人研修等で担当を決め丁寧に指導を行っているが、前職の内容や立場により価値観や考え方の違いがあり職員の定着の難しさを感じる。
- ・職員の経験や個性（得意な事）を活かし、業務分担や役割分担を行い、新たな取り組みやメニューの提案を検討し実施した。（(例) 誕生日会での利用者紹介をパソコンでファイルを作成しテレビで映す、利用者の作品で壁面飾りを作成する、書類作成の指導、等）実施にあたり、特定の職員に負担が偏らないように、分担や準備時間の調整を行った。

#### 3) 感染症の予防とまん延防止について

- ・感染予防マニュアル・感染症発生時の業務継続計画に沿って、感染症予防を継続している。
- ・職員・利用者には新型コロナに罹患された方がおられたが、センター内での感染拡大はなかった。また、重症化された方はおられなかった。

### ②利用者状況

（単位：名）

	事業対象者 要支援 1・2		要介護		総合計		1日 平均	前年度 総合計		
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数		延人数	実人数	1日平均
R5/4	79	14	1060	105	1139	119	43.8	1038	104	39.9
R5/5	77	13	1171	107	1248	120	48.0	1081	112	41.5
R5/6	85	16	1145	109	1230	125	47.3	1096	112	42.1

R5/7	73	13	1076	110	1149	123	44.1	1114	111	42.8
R5/8	77	13	1085	107	1162	120	43.0	994	103	36.8
R5/9	70	14	1061	104	1131	118	43.5	1050	106	40.3
R5/10	79	15	1131	106	1210	121	44.8	1104	102	40.8
R5/11	85	14	1165	109	1250	123	48.0	1079	112	41.5
R5/12	79	15	1089	109	1168	124	48.6	1033	110	43.0
R6/1	72	15	1000	105	1072	120	46.6	943	110	41.0
R6/2	75	13	1068	107	1143	120	45.7	862	113	34.4
R6/3	61	12	1138	108	1199	120	46.1	1165	111	44.8
合計	912	167	13189	1286	14101	1453	44.9	12559	1306	40.6

平均介護度：要介護 1.8 平均年齢：85.6 歳（前年度 平均介護度：1.8 平均年齢 85.6 歳）

### ③主な行事

4月	・風船バレー・映画観賞会 ・おやつ作り（たこ焼き・豆腐パンケーキ）
5月	・しょうぶ湯・風船バレー・映画観賞会 ・おやつ作り（こいのぼりクレープ・ホットサンド）
6月	・ボーリング大会・映画観賞会 ・おやつ作り（フレンチトースト・むらすずめ風）
7月	・七夕会（笹飾り・七夕ゲーム）・海の日ゲーム ・おやつ作り（ミニアメリカンドッグ） ・消防訓練（ケアハウス合同）
8月	・夏祭り ・おやつ作り（じゃが焼き・オムレット）
9月	・敬老の日お楽しみ会及び行事食（プレゼント配布） ・ハロウィン物づくり（ハロウィンバッグ） ・おやつ作り（バナナと豆腐のパンケーキ・ごはんせんべい）
10月	・ふれあい大運動会
11月	・クリスマス会物づくり（サンタとトナカイのつるし飾り） ・ボーリング大会
12月	・クリスマス会・ゆず湯
R.6 1月	・新春お楽しみ会 ・消防訓練（消防署からの来所なく自主的に開催） ・おやつ作り（いもどら、たこ焼き）
2月	・節分鬼退治 ・バレンタインチョコすくい ・おやつ作り（たこ焼き・チョコボール）
3月	・お雛様ゲーム ・おやつ作り （アメリカンドッグ風・麩のフレンチトースト&パリパリチップス）

\*その他：毎月 誕生日会・書道・移動図書館ひまわり号等

### (3) デイサービスセンター敏庵

（定員 32 名）通所型サービス A 12 名 介護給付 20 名、1 日 2 単位（午前・午後）

#### ①概要

##### 1) 利用者数の拡大及び満足度の向上を図る

- ・新規利用者の問い合わせや体験利用が増え、延べ人数、実人数共に緩やかに増加傾向にある。
- ・利用者層としては、要支援の利用者が要介護の利用者の約 1.6 倍となっている。利用回数は、週 1~2 回の方が多く、お盆・彼岸や祝日などはキャンセルされる方が多い。
- ・軽介護度者の方が多い中、認知機能の低下が強い方や排尿の失敗が目立つ方もおられるが職員の対応によりトラブルなく継続して利用していただいている。また、様々な疾患や状態の方にも対応できるように随時勉強会や情報共有を行っている。
- ・デイサービスセンター敏庵の利用者が、状態の変化により入浴介助の必要性や長時間利用の必要性が出現し、老人デイサービスセンターふれあい二色の浜の利用を開始する方が増えている。

その場合にも、混乱なく安心して利用ができるように職員同士の連携や利用者・ご家族への声掛けなど行っている。

- 日々のレクリエーションでは、利用者が発言する機会や利用者同士の話も盛んになり交流の場となっている。また季節を感じる行事が実施できない場合も、飾りつけや日々のレクリエーションの会話の中で感じてもらえるように工夫している。
- その日の状態や体調に合わせて、運動メニューなどの変更を行い運動による症状・体調の悪化や本人の負担にならないように注意している。
- 前年度育児休暇を取得していた職員1名が復職した。同職員は、次年度産休・育休を取得予定。

## 2) 感染症の予防とまん延について

- 感染予防マニュアル・感染症発生時の業務継続計画に沿って、感染症予防を継続している。
- R5.5月に新型コロナが2類から5類に引き下げられた後、マスクの着用に対して「もうしなくてもいいのではないか」と話される利用者もおられたが、高齢者施設であること、感染予防のため必要であることを丁寧に説明し理解していただいている。

## ②利用者状況

(単位：名)

	事業対象者 要支援1・2		要介護		総合計		1日 平均	前年度 総合計		
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数		延人数	実人数	1日平均
R5/4	308	63	207	38	515	101	25.7	493	93	23.4
R5/5	326	63	243	38	569	101	25.8	448	85	19.4
R5/6	316	64	227	36	543	100	24.6	493	91	23.4
R5/7	328	66	226	39	554	105	26.3	522	96	23.7
R5/8	314	68	224	40	538	108	23.3	549	103	23.8
R5/9	328	68	235	41	563	109	26.8	594	104	28.2
R5/10	337	68	260	40	597	108	27.1	586	107	25.4
R5/11	324	69	262	40	586	109	25.4	578	104	27.5
R5/12	320	68	246	43	566	111	28.3	548	106	27.4
R6/1	305	69	237	43	542	112	27.1	500	104	26.3
R6/2	338	66	252	42	590	108	28.1	468	97	23.4
R6/3	342	67	237	40	579	107	27.5	544	96	27.2
合計	3886	799	2856	480	6742	1279	26.3	6323	1186	24.9

平均介護度：要介護0.9 平均年齢：84.4歳（前年度 平均介護度：0.7 平均年齢83.7歳）

## ③主な行事

5月	・手作り藤棚を見ながら足湯
6月	・七夕飾り作り（大きな短冊に書き天井からつるし飾りつけ）
7月	・七夕会（笹飾りとイルミネーション）
8月	・魚のつく漢字クイズ大会・紙芝居
9月	・敬老の日プレゼント配布
11月	・クリスマス飾り作り
12月	・クリスマス会と抽選会
R6年1月	・新春飾り
2月	・節分ゲーム

#### (4) ヘルパーステーション

##### ①概要

##### 1) 利用者一人ひとりに対して、状況・状態に適したサービスを行う

- ・新規利用者や利用の追加などがあり、昨年度に比べ利用者数・延べ訪問数ともに増加している。
- ・利用者の体調不良や怪我による状態の変化や家庭環境（介護する方の体調不良等）の変化で、急にヘルパーサービスが必要になった場合や臨時的にヘルパーサービスの回数を増やす必要のある場合に、ケアマネジャーからの依頼や連携により、早急な対応を行った。新規利用者については、その後定期的なサービス利用が継続し、利用者数の増加につながったと考える。
- ・認知症や精神疾患など、精神症状が強い方や拒否傾向にある方に対しても声掛けや関わりの工夫を行い、関係作りを行っている。また、利用者・ご家族及びケアマネジャーの思いに寄り添い必要な情報のやり取りが円滑に行えるよう心掛けている。
- ・毎月の職員会議を通して、個々のサービスの状況や困難点を出し、話し合う事でそれぞれのサービスの質の向上を行なっている。また、訪問介護員の思いなどを汲み取ることで、継続した就業が行えている。

##### 2) 感染症の予防とまん延防止について

- ・感染予防マニュアル・感染症発生時の業務継続計画に沿って、感染症予防を継続している。
- ・訪問時に利用者・家族のマスクの着用や換気なども定着している。
- ・職員自身の新型コロナの感染により、予定していた職員の訪問が行えない場合もあったが他の職員で補い合うことが出来、利用者に迷惑をかけることなく訪問することができた。

#### ②利用者状況

(単位：名)

	事業対象者 要支援 1・2		要介護		総合計		1日 平均	前年度 総合計		
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数		延人数	実人数	1日平均
R5/4	4	1	347	34	351	35	14.0	300	29	11.5
R5/5	5	1	383	35	388	36	14.3	305	30	11.7
R5/6	4	1	396	36	400	37	15.3	320	31	12.3
R5/7	4	1	378	37	382	38	14.6	328	31	12.6
R5/8	5	1	404	37	409	38	15.1	340	31	12.5
R5/9	4	1	356	36	360	37	13.8	298	29	11.4
R5/10	4	1	383	38	387	39	14.8	292	30	10.8
R5/11	0	0	382	39	382	39	14.6	305	32	11.7
R5/12	0	0	358	37	358	37	14.3	319	37	13.2
R6/1	0	0	318	34	318	34	13.2	279	34	11.6
R6/2	0	0	351	35	351	35	14.0	286	33	11.4
R6/3	0	0	339	36	339	36	13.0	345	34	13.2
合計	30	7	4395	434	4425	441	14.2	3717	381	11.9

平均介護度：要介護 2.0 平均年齢：85.8 歳（前年度 平均介護度：2.0 平均年齢 86.0 歳）

#### (5) ケアプランセンター

##### ①概要

##### 1) 各職員の対応技術・面接技術の向上を図り、適切なケアプラン・相談業務を行う。

- ・利用者の入院や入所が相次ぎ利用者の変動が大きかった。入所については、利用者・ご家族が納得して入所できる施設探しに費やす時間が増加している。
- ・新規利用者について、包括支援センターからの紹介、担当している利用者や以前に担当していた利用者の家族や知り合いからの依頼が多く、毎月数名の新規利用者がある。
- ・利用者の課題が、多種多様な問題を重複的に抱えているケースなども多く突発的に支援量が増えることがある。また、介護保険 2 号被保険者（40 歳以上 65 歳未満の人）からのサービス利用の希望も多く、サービスの選定など配慮が必要なケースも多い。困難事例等に対して各関係機関との連携や他事業所との連絡調整も増加している。
- ・週 1 回の職員会議を通じて、社会資源の共有や個々のケースの相談や対応技術、対応力の向上を図っている。

- ・他のケアプランセンターとの情報交換や事例検討会を年2回行っており、事例の提供や検討会の参画など中心的な役割を担うこともある。
- ・知り得た社会資源等の情報は他の職員と共有できるように周知している。

## 2) 感染症の予防とまん延防止について

- ・感染予防マニュアル、感染症発生時の業務継続計画に沿って、感染症予防を継続している。
- ・利用者が新型コロナに感染され自宅療養や入院治療をされた方がおられたが、ご家族の協力等で大きなサービス変更や混乱はなく過ごすことができ、元気に回復されている。
- ・訪問時の利用者やご家族のマスク着用等、利用者・家族にも感染症予防が定着している。

## ②利用者の状況

ケアマネ 39 件の上限ありそれを超えると減算あり (ケアマネ 4 名上限 159 件)

\*事業対象者・要支援 1・2 の利用者は、包括支援センターからの受託プランである。  
 \*事業対象者・要支援 1・2 の利用者 2 名で 1 件と計算する。(介護予防支援のみ)  
 \*介護予防ケアマネジメント A は件数に含まない。

	要支援				介護	合計 (実人数)	合計 予防支 援件数 +介護	ケアマネ 一人 実人数	ケアマネ 一人 件数	前年度	
	実人数	A 型	支援	支援 件数						ケアマネ 一人 実人数	ケアマネ 一人 件数
R5/4	33	15	18	9.0	135	168	144.0	42.0	36.0	48.2	41.2
R5/5	31	14	17	8.5	137	168	145.5	42.0	36.3	49.0	41.8
R5/6	29	13	16	8.0	138	167	146.0	41.7	36.5	48.5	41.5
R5/7	27	12	15	7.5	141	168	148.5	42.0	37.1	47.7	41.1
R5/8	27	12	15	7.5	139	166	146.5	41.3	36.6	47.7	41.1
R5/9	27	13	14	7.0	138	165	145.0	41.2	36.2	46.0	39.2
R5/10	28	13	15	7.5	139	167	146.5	41.7	36.6	43.2	36.3
R5/11	28	13	15	7.5	142	170	149.5	42.5	37.3	42.2	35.7
R5/12	29	10	19	9.5	140	169	149.5	42.2	37.3	42.2	35.6
R6/1	27	10	17	8.5	137	164	145.5	41.0	36.3	41.2	35.0
R6/2	26	11	15	7.5	139	165	146.5	41.2	36.6	42.0	35.7
R6/3	28	13	15	7.5	138	166	145.5	41.5	36.3	41.7	35.7
合計	340	149	191	95.5	1663	2003	1758.5	41.7	36.6	44.9	38.3

平均介護度：要介護 1.8 平均年齢：83.6 歳 (前年度 平均介護度：1.68 平均年齢 84.0 歳)  
 (前年度 利用者合計実人数及びケアマネ一人実人数について)

\*R4. 10 月～利用者数を 159 件以下に調整し、R4. 12 月～事業所評価加算Ⅱの算定を再開した。

## (6) 包括支援センター

### ①概要

#### 1) 適切な運営体制の強化を図る。

- ・包括的支援事業(総合相談支援業務)の相談件数について、昨年度に比べ減少した数字ではあるが、数字のカウント方法として1日複数回の対応があっても1回とカウントすることから表面的に減少しているが、対応に労力と時間を費やすケースが増えている。(カウント方法は貝塚市への報告方法の取り決めによるもの)
- ・権利擁護(成年後見制度の利用の検討)、虐待関係、家族課題(家族の問題解決能力・決断力が低い方や精神疾患を持っておられる方等)、様々な課題を複合的に抱えた方の相談が増えており、関係機関との連絡調整が多くなっている。それらに対応できるように専門知識の向上や社会資源等の活用ができるよう、職員間で情報交換等を行っている。
- ・総合相談からケアプランの作成を依頼されるケースも多く、ケアマネジャーへの引継ぎを行う。入院中に退院に向けての依頼も多く、急な対応が必要なことも多く、対応いただけるケアマネジャーを探すことに苦勞することもある。また要支援の介護予防プランに関しても月

平均 13 件増えており、内直持ちは月平均 3 件の増加、委託プランは月平均 10 件の増加となっている。委託プランについても 3～4 件の事業所に声をかけてやっと依頼先が見つかることが多い。(市との取り決めで、包括支援センターの直持ちは 50 件を目安にすることになっている)

- ・上記の事やケアマネジャーからの相談が増加していることもあり、ケアマネジャーとの連携を深め、互いに協力できる体制をとっている。
- ・障害福祉課との検討会議やその他連携会議等への参加が増えている
- ・大学の看護学部の公衆衛生の実習の依頼があり、R5.6 月 13～14 日、6 月 21～22 日で 2 グループ (各 5 名) の実習を行った。

## 2) 感染症の予防とまん延防止について

- ・感染予防マニュアル、感染症発生時の業務継続計画に沿って、感染症予防を継続している。
- ・訪問時の利用者やご家族のマスク着用等をお願いしている。

## ②連携会議等の出席状況

毎月	貝塚市 3 包括連絡会
随時	ケース検討会議
	貝塚市生活支援・介護予防協議会
2 ヶ月に 1 度	つげさん在宅ネット (在宅医療介護連携推進懇話会)

## ③包括的支援事業 (相談件数)

\*実人数については、毎月更新

(単位:名)

	実人数	新規	延べ件数	前年度		
				実人数	新規	延べ件数
R5.4	57	10	151	62	18	153
R5.5	41	12	107	73	21	185
R5.6	66	27	142	76	24	162
R5.7	54	16	129	62	14	156
R5.8	63	12	163	84	27	199
R5.9	50	9	117	74	16	195
R5.10	58	10	148	71	14	158
R5.11	46	10	110	48	9	115
R5.12	44	13	120	53	15	118
R6.1	40	13	107	40	12	80
R6.2	45	16	156	48	17	101
R6.3	49	11	120	61	19	173
合計	613	159	1570	752	206	1795

## ④ 地域推進のための活動

拡大地域ケア会議 21 地域 (2 か月に 1 度程度)

		前年度
R5/4	9 回	10 回
R5/5	10 回	10 回
R5/6	8 回	9 回
R5/7	11 回	9 回
R5/8	8 回	7 回
R5/9	9 回	10 回
R5/10	10 回	9 回
R5/11	9 回	10 回
R5/12	10 回	7 回
R6/1	7 回	10 回
R6/2	11 回	9 回
R6/3	11 回	10 回
合計	113 回	110 回

開催地区 (前年度から変化なし)  
 旭町、海塚、浦田、戎前、大北町  
 澤町、新町、津田北、津田南、  
 中町、西町、南町、畠中、加神  
 堀新、堀之町、ロコモ、脇浜  
 脇浜西、脇浜南、二色校区合同

⑤地域密着型運営推進会議の出席状況

2か月に1回開催予定	まんじゅ貝塚（グループホーム） ニチイケアセンター（グループホーム） エルケアローズガーデン貝塚（小規模多機能） 地域密着型特別養護老人ホーム水間ヶ丘（特別養護老人ホーム） ふれあい二色の浜（小規模多機能）
------------	---

⑥介護予防教室

認知症サポーター養成講座	6回	沢、貝塚高校、中央小学校、市民向け
介護予防普及啓発教室（単発教室）	15回	沢、畠中町、旭住宅、南町、戎前町 中央公民館、浜手公民館 二色の浜荘園等

⑦居宅介護支援事業

利用者状況

（単位：名）

	総数	内訳		前年度		
		包括担当	他センターへの委託	総数	内訳	
					包括担当	他センターへの委託
R5.4	304	49	255	291	44	247
R5.5	313	53	260	296	43	253
R5.6	302	48	254	297	45	252
R5.7	309	51	258	296	47	249
R5.8	315	48	267	299	46	253
R5.9	326	48	278	307	49	258
R5.10	322	47	275	311	50	261
R5.11	325	47	278	323	50	273
R5.12	316	45	271	313	50	263
R6.1	318	50	268	313	51	262
R6.2	314	47	267	309	51	258
R6.3	316	45	271	311	51	260
合計	3780	578	3202	3666	577	3089

(7) 小規模多機能型居宅介護 登録定員 29名

①概要

1) 利用者の心身の特性に踏まえて、利用者が可能な限り住み慣れた居宅において自立した日常生活を営むことができるよう援助を行う。

- ・登録数は前年度に比べて減少している。終了者は、体調不良により入院、急変しお亡くなりになった方、状態安定のため在宅サービスに引継ぎ終了した方等である。
- ・通所サービス・訪問サービスを組み合わせてサービス予定を行っているが、痛みの出現など症状に合わせ、訪問回数の増加や緊急対応で病院受診の付き添いなど柔軟に対応し、本人の望む在宅生活を維持することができている。ただし、「さみしい」「一人が不安」などの精神面の安心には十分に不安を解消することが出来ず、難しい部分である。そのようなケースでも、寄り添いを続けることで、訪問サービス中心から通所サービスの利用も行えるようになり表情が柔らかくなった方もおられる。
- ・ターミナルの状態、在宅で過ごすことを希望される方もおられ、他事業所の訪問看護等との連携を深め安全に安心して過ごせるよう関わりを持って、ご本人・ご家族の満足度の向上につながった。
- ・個々の生活歴や生活環境、ご本人・ご家族の思いに寄り添い支援・援助することで信頼関係を築き、スムーズにサービスを受け入れてもらうことが出来た。

- ・各々の利用者の状態の変化やサービス提供時の気づきを伝達・相談し、援助目標や援助内容の変化を夕礼や会議などの場を活用し共有することでサービスの質の向上を目指している。
- ・法令等、ケアプラン作成、疑問点や不明点については自身で早急に解決するため保険者等への問い合わせなど知識や情報の習得に励んでいる。

## 2) 感染症の予防とまん延防止について

- ・新型コロナのまん延以降、地域の幼稚園児、中学生やボランティアの来訪が中止になっているが、各々の利用者の居住する地域での集いへの参加や地域の民生委員や近隣の住民との交流が継続できるように働きかけを行っている。
- ・感染予防マニュアル・感染症発生時の業務継続に沿って、感染症予防を継続している。
- ・登録利用者においても全員が新型コロナウイルスワクチン接種を行っており、追加接種のための受診の援助を随時行っている。また、インフルエンザワクチンなど季節性の予防接種の受診援助も行っている。
- ・利用者及び職員の新型コロナ感染はなかった。

## ②利用者状況

(単位：名)

	事業対象者 要支援1・2		要介護		総合計		前年度総合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
R5/4	11	1	378	8	398	9	472	12
R5/5	12	1	350	8	362	9	448	11
R5/6	12	1	317	7	329	8	435	11
R5/7	12	1	442	8	454	9	421	11
R5/8	15	1	408	7	423	8	429	11
R5/9	10	1	342	7	352	8	428	11
R5/10	14	1	418	7	432	8	400	11
R5/11	14	1	343	7	357	8	317	9
R5/12	15	1	418	7	433	8	331	8
R6/1	12	1	385	6	397	7	371	8
R6/2	13	1	313	6	326	7	413	9
R6/3	12	1	377	7	389	8	467	9
合計	152	12	4500	85	4652	97	4932	121

平均介護度：要介護 2.4 平均年齢：88.4 歳 (前年度 平均介護度：2.5 平均年齢 87.6 歳)

	訪問回数		通所回数		宿泊回数	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
R5/4	238	7	158	9	2	1
R5/5	190	6	168	9	4	2
R5/6	174	7	152	8	3	1
R5/7	304	8	148	9	2	1
R5/8	277	7	142	8	4	2
R5/9	207	7	143	8	2	1
R5/10	268	7	161	8	3	1
R5/11	203	7	151	8	3	2
R5/12	278	7	154	8	1	1
R6/1	274	7	123	7	0	0
R6/2	199	7	127	7	0	0
R6/3	250	7	139	8	0	0
合計	2862	84	1766	97	24	12
前年度 合計	2958	107	1946	108	31	18